

塚田辰樹 Tatsuki Tsukada

8月1日～8月31日

トポス高地 H.R 2016_05

「平面の手触り」

欧風家庭料理

Haricot Rouge
アリコ・ルージュ

欧風家庭料理店「アリコ・ルージュ」
〒389-1226 長野県飯綱町川上 2755
飯綱東高原 飯綱高原ゴルフコース前
phone 026-253-7551
営業時間 12時～20時30分
休館・定休日 火曜
<http://homepage3.nifty.com/haricot/>

TOPOS
<http://toposnet.com>



塚田辰樹 tatsuki tsukada

1986年長野県生まれ埼玉県在住
印刷物の制作会社へ勤務しながら版画を制作中
2005-2009年 東北芸術工科大学洋画コース入学、卒業

- 2014 林檎たちのマスカレド展 (デザインフェスタギャラリー/東京)
- 2015 D15 (フラットファイルスラッシュ/長野)
- 2015 「紙に鉛筆」展 (フラットファイルスラッシュ/長野)

山の木々や岩を分け入って進む。そのうちに、表現しようのない「何かに見つめられている」という感覚が強くなる。ただの自然現象が、まるで意思を持った存在として感じることがある。そのまなざしは、平野にも潜んでいる。空き地や神社、林。いたずらに人の手の入らない場所では、その土地の「記憶」が残っているからだと思う。

木口木版 WOOD-ENGRAVING

版画技法。立木を輪切りにした切り口(木口)を版面とする。版木には黄楊(つげ)や樺(つばき)等の堅い木が使われ、銅彫版と同じく、堅い版材に鋭い線を刻むことのできるビュランやノミによって彫版する。インキは粒子の細かいオフセット印刷用・銅版用・石版用等、油性インキを用い、彫り残された凸部にローラーで均一にインキをのせる。紙は薄手のものが刷り易く、バレンや、より細かい調子を出すためには金属ベラで強く印刷する。特徴は、繊細で精密な表現が可能なこと、また版が堅牢なので大部数印刷にも適していることである。18世紀末に英国人ビューイックが創始したとされる。日本では1887年に伝えられ、教科書や新聞の挿絵等、実用面で広く普及したが、写真製版が発明された後、衰退していく。芸術的な木口木版の制作では山本鼎や長谷川潔などが有名。ところで、木口木版に対して、縦挽きした切り口(板目の表われる面)で制作するものを板目木版と呼び、西洋と逆に日本で木版画といえば、こちらの方が一般的である。

晩冬の木
木口木版
非売品

私の住むまち
木口木版
¥5,500 (額なし)
¥8,500 (額縁込)

私の住むまち I
木口木版
非売品
雷鳴
木口木版
¥4,000 (額なし)
¥6,000 (額縁込)

邂逅
木口木版
非売品

木霊
木口木版
¥5,000 (額なし)
¥7,500 (額縁込)

スプライト
木口木版
¥3,500 (額なし)
¥5,500 (額縁込)

発生
木口木版
¥3,000 (額なし)
¥5,000 (額縁込)

私の住むまち IV
木口木版
非売品

私の住むまち III
木口木版
非売品

まなざし
木口木版
¥3,500 (額なし)
¥5,500 (額縁込)

行く宛は
木口木版
非売品

私の住むまち II
木口木版
非売品